

---

## 昆虫の体節形成機構における遺伝子プログラム

---

更科 功・三戸太郎（徳島大学工学部生物工学部）

---

昆虫の体節形成機構の進化を理解するには、ショウジョウバエのような特殊な昆虫ではなく、一般的かつ祖先的な特徴を持つ昆虫をモデルにする必要がある。そこで我々はコオロギをモデルとして、体節形成遺伝子のRNAiによる機能解析を行っている。その結果、ハエのような多核の状態ではなく細胞化された環境で、ハエと同様な遺伝子カスケードが働くシステムが昆虫に一般的な体節形成機構であること、またカスケードの上流ではハエと異なるシステムが使われていることが明らかとなった。

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの「閉じる」ボタンでウインドウを閉じてください。